

台風第19号対応の課題と対策の概要　　－ 中間報告 －

環境安全部危機管理防災課

浮かび上がった課題		対策	予算対応（千円）			別紙
5大項目等	具体的な課題	具体的な対策	12月補正等	3月補正	2年度当初	
Ⅰ 避難周知情報の	1. 防災無線の情報が聞こえない	①防災ラジオの無償貸与、防災無線の適正な管理	469,617		52,420	A-4参照
	2. 各種伝達手段の更なる拡大及び避難情報・防災情報等の発信のあり方を検討すべきではないか。	②防災ラジオ以外のツールによる情報伝達手段の強化		52,151		A-3参照
		③ツールの内容と効果的な組合せによる災害情報の発信				
Ⅱ 避難情報発信の	1. 利根川、渡良瀬川の水位を避難情報発令基準の中心としていたが、その他の情報も勘案すべきではないか。	①避難情報発令基準の見直し				
	2. 本部の場所、意思決定のあり方、各総合支所本部及び避難所との連絡・運営体制が不十分であった。また、職員撤退判断基準が定められていない。	②災害対策本部の設置・運営内容の拡充		86		A-3参照
	3. 本庁、各総合支所への電話問合せが多く、受ける体制が不十分であった。	③コールセンター体制の整備				
		④国交省との連携（利根川上流河川事務所への職員派遣による情報共有）				
Ⅲ 避難所の運営	1. 開設に当たっての情報不足、開設後の情報共有も不足していた。	①自主避難所や広域避難所等の開設・運営のあり方の見直し等				
	2. 災害地区支援班を含め避難所担当者が不足。また、人員の配置人数が一律で不適正であった。	②避難所の資機材、備蓄品等の充実	6,174		9,635	A-4参照
	3. 避難所の雨漏りやトイレ対応等が不十分であった。			19,300		A-3参照
	4. ペット同行避難の周知と対応が不十分であった。 5. 受付用具と避難者対応資機材が不足していた。 6. 自主避難所から広域避難所への移動が困難であった。 7. 災害時要援護者等の対策が不十分である。	③災害時要援護者対策	15	860	1,091	A-3参照 A-4参照
Ⅳ 避難所の確保	1. 広域避難所の不足	①市外及び民間の広域避難所の確保				
	2. 駐車スペースの不足	②市内広域避難所及び駐車スペースの確保				
	3. 避難所の不足、避難所の分類が複雑で分からない。	③避難所全体の見直し		3,322		A-3参照
				2,853		A-3参照
	4. 自主的な避難の考え方が未確立である。	④自主的な避難の周知・啓発の徹底			970	A-4参照
	5. 荒川の水害対策が不十分である。	⑤荒川洪水対策の充実		682		A-3参照
Ⅴ 移動の手段・経路	1. バスによる災害時要援護者の広域避難	①要援護者の把握	971			
	2. 車による避難が多かったため、渋滞が発生した。				602	A-4参照
	3. 移動経路が集中してしまったため、分散化を考える必要がある。	②啓発の徹底		274		A-3参照
		③広域避難経路の検討				
その他	1. 市民の行動等の実態把握が不十分である。	①アンケート調査の分析等	2,585			
	2. 水防団の実態把握 本部と水防団の連絡体制等が不十分であった。	②水（消）防団との連携強化			4,529	A-4参照
	3. 自治協力団体の実態把握 本部や避難所との連絡体制等が不十分であった。	③自治協力団体（区長）との連携強化			8,542	A-4参照
合計			479,362	79,528	77,789	